

目的や必要に応じて要旨をとらえる力を高める学習指導 ～説明的な文章を図式化する学習活動を通して～

東広島市立高屋中学校 居川 あゆ子

一 はじめに

中学校学習指導要領（平成20年）国語第一学年の内容「C読むこと」の指導事項イには、「文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。」とある。中学校学習指導要領解説国語編には、要旨をとらえることについて、「目的や必要に応じて大切な情報を選択し整理することが重要である。」と述べられている。これまでの私の授業を振り返ると、生徒は、目的や必要に応じて要旨をとらえることは十分できていなかった。その原因は、私が、目的や必要に応じて大切な情報を選択し整理させていなかったことにある。

そこで、説明的な文章の学習において、図式化させる。そのことによって、目的や必要に応じて要旨をとらえる力を高めることができるかと考え、本単元を実施した。

二 文章を図式化する学習活動とは

文献研究等から、説明的な文章を図式化する学習活動を「説明的な文章を、要点をかいつまんで一目でとらえやすい形にすること。」とし、図式化の方法を、次のようにした。

- ① 文章中のキーワードに印をつけながら読む。
- ② キーワードの中から、重要なものを選択する。
- ③ キーワード同士の関係を図に書き込んでいく。
 - ・ 重要なキーワードは大きく書く、色ペンで書く。
 - ・ 配置や矢印を工夫する。
- ④ 書いた図を見ながら、もう一度文章を読む。
- ⑤ 図の修正を行う。
- ⑥ 図にタイトルをつける。

三 授業計画

- 単元名 『情報を解釈しよう』
教材文「食感のオノマトペ」早川文代
- 目標 目的や必要に応じて要旨をとらえることができる。

○指導計画

次	主な学習内容
一・二時間	<ul style="list-style-type: none"> ○単元の目標を設定する。 ○学習課題を設定し、課題解決の手順を確認する。 ○自己紹介文を図式化する。 ○既習の説明的な文章を図式化する。
二・三時間	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題1「食感のオノマトペ」で読書レシビを作ろう。 ○全文を読む。初発の感想をもつ。 ○文章の構成を確認する。 ○文章を図式化する。 ○図をもとに、読書レシビを完成させる。
三・二時間	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題2「食感のオノマトペ」を根拠に、意見文を書こう。 ○全文を読み、キーワードを見つける。 ○見つけたキーワードを吟味する。 ○図式化を行う。 ○図の修正を行う。 ○図を文章に書き換える方法を確認する。 ○図をもとに、意見文を書く。 ○意見文を評価する。 ○学習の振り返りを行う。

授業では、一つの教材文に二つの学習課題を設定した。これは、生徒に「目的や必要に応じて要旨をとらえる」とは何かを理解させ、課題に応じた視点をもたせるためである。

また、生徒にとって、文章を図式化する学習は、初めてであった。そこで、一次で教材文以外を使用し、図式化の方法を指導した後、二次・三次で単元の目標に迫るようにした。

課題1「食感のオノマトペ」で、読書レシピ（読書案内）を作ることになりました。項目は①キャッチコピー②食感のオノマトペとは③日本語の食感のオノマトペの特色④筆者の伝えたいこと⑤読後の感想などです。②③④について、本文を図式化して考えてみましょう。

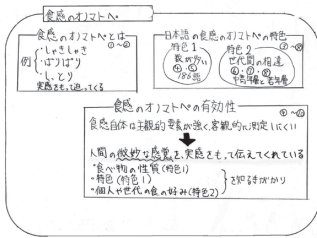


図1

課題2 食感のオノマトペは有効だという題で、二段落構成の意見文を書くことになりました。筆者になったつもりで、教材文を根拠に意見文を書きましょう。ただし文章を図式化すること。

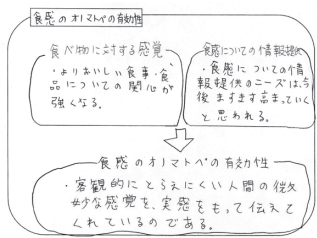


図2

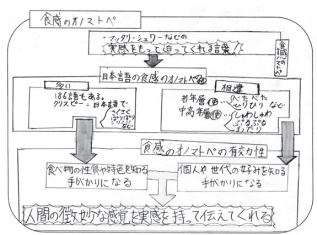


図3

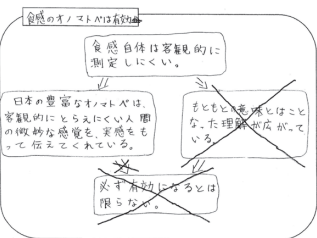


図4

これらの三つの図は、一見違って見えるが、どの図も最も重要な情報である筆者の主張と、その根拠になる情報をとらえ、情報同士

もっているからだと考える。図1は、読書レシピ用に作成した図である。図2からは、論の展開と読書レシピの項目に合わせた三つのまとまりが作られている。図3から図4は、意見文用に作成した図である。図2は、上から下に流れが作られており、主張と根拠をシンプルにまとめた図と言える。図3は、文章の展開に沿って、文章全体の内容を丁寧に図式化している。図4の×は図を修正した跡である。これは、生徒が説得力のある意見文の根拠を探すという視点をもっているからだと考える。

四 図式化の実際

図1は、読書レシピ用に作成した図である。図の中には、論の展開と読書レシピの項目に合わせた三つのまとまりが作られている。

五 おわりに

読書レシピ用の図と、意見文用の図を比較すると、前者は図の中の要素が独立しているが、後者は、要素同士が矢印で結ばれており

僕は食感のオノマトペは有効だと思う。
理由は、客観的にとらえにくい人間の微妙な感覚を実感を持って伝えてくれるからである。実際、食感自体は、客観的に測定しにくい。だがしかし、「サクサク」「バリバリ」「まったり」「もっちり」といったオノマトペを使うことで、その食べ物の食感をそのまま伝えてくれて、分かりやすくなる。だから、僕は、食感のオノマトペは、有効だと思う。

の関係を正しく表現することができている。図式化の後、生徒は、意見文を書いた。図4をもとに書かれた意見文を紹介する。

いがわ あゆこ 広島県東広島市立高屋中学校教諭。本稿は、平成二十二年前期教員長期研修での実践による。

い。授業を通じて、生徒達は、様々な学習課題に応じた適切な視点をもてるようになった。そして、その視点を基に説明的な文章を図式化する学習活動を行った結果、大切な情報を選択し整理することが可能となり、生徒の目的や必要に応じて要旨をとらえる力を高めることとなった。今後さらにも実践を重ね、図式化を通して、目的や必要に応じて要旨をとらえる力を高める学習指導を進めていきたい。

関係性があることを表わしている。この違いは、生徒が学習課題に応じた適切な視点をもつことができたことによると考える。